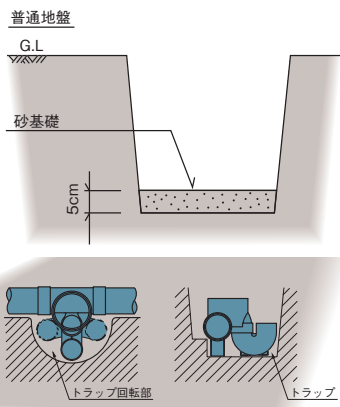


汚水マスの施工

掘削・基礎

掘削は、やり方等を用い、所定の深さに凹凸不陸のないよう平坦に直線状に掘削し、基礎部は木ダコなどで十分に突き固め、管路こう配にあわせて床仕上げしてください。小口径マスの基礎は原則として厚さ5cm以上の砂基礎とします。

トラップ付インバートには仮置き用の脚が付いていますから、この部分だけは配管床を深く掘って下さい。また、トラップ部が回転できるだけの余裕も取って下さい。

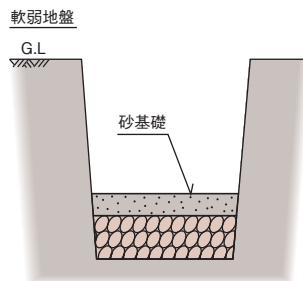


軟弱地盤

軟弱地盤の場合は、切込採石、栗石等で置き換え5cm以上の砂基礎を施してください。

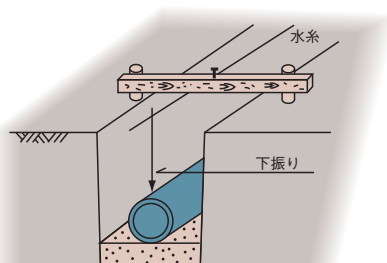
マス設置部分の掘削幅(参考)

マス径	掘削幅 (cm)
150	40 ~ 50
200	40 ~ 50
300	50 ~ 60

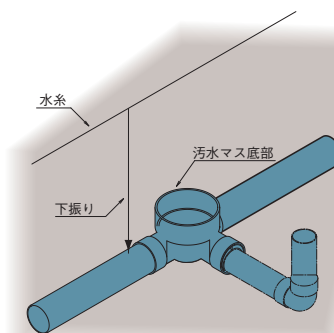


据付接合

下げ振り、水準器などを使用して正確に芯出しを行い、下流側又は上流側どちらか一方から順序よく接続してください。(地獄配管を防止するため)

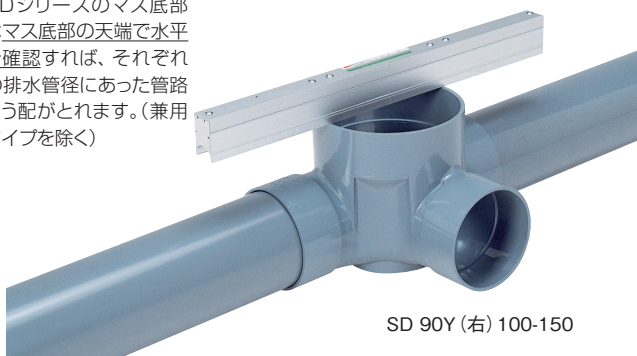


SD据付図



マス底部の天端 水平 こう配

SDシリーズのマス底部はマス底部の天端で水平を確認すれば、それぞれの排水管径にあった管路こう配がとれます。(兼用タイプを除く)



SD 90Y (右) 100-150

ゴム輪接合

AHR-Rシリーズのマス底部は管路こう配にあわせて設置します。



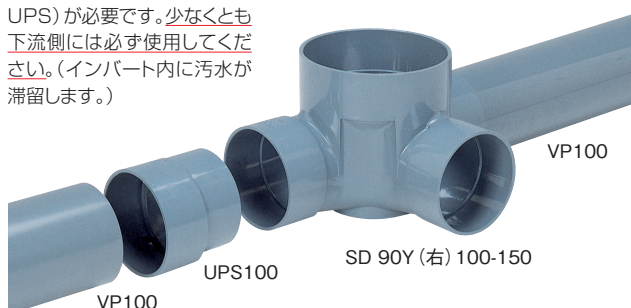
接着接合

塩ビ配管用接着剤を、接着受口内面及び差口外面に刷毛で均等に塗布し、速やかに差口を受口に挿入し、10~30秒以上抜け出さないよう保持してください。(ストッパーまで完全に挿入接合してください)



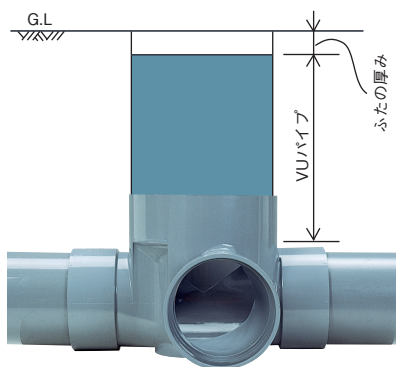
VP管・UPS

VP管を使用する場合は、VU→VP変換ソケット(CUUPS)が必要です。少なくとも下流側には必ず使用してください。(インバート内に汚水が滞留します。)



立管の接合

立上がり管 (VU 管) の所要長さは、マス受口ストッパーから地表面までの高さからふたの厚みを差し引いた寸法になります。



マス受口内面及び立上がり管の差口部に、接着剤を均一に塗布し、垂直に接合してください。



ふたの接合

ふた及び立上がり管に接着剤を均一に塗布して挿入接合してください。ふたは原則として地表面と同じ高さになるよう設置してください。



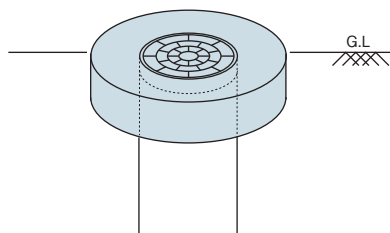
傾斜地用ふた

傾斜地用ふたは、傾斜角度により頂点が移動しますので、必ず角度合わせをしたのち立上り管に接着合してください。



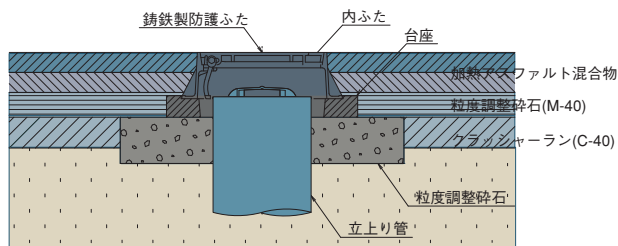
ふたの防護

高さ調整ふた、傾斜地用ふたを設置する場合、また地表面よりふたが高い場合は、必ずコンクリート防護をして固定してください。



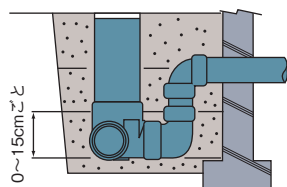
防護ふたの設置

- ・沈下を防止するため、台座下部の基礎は十分転圧してください。
- ・台座及び防護ふたは立管と同芯になるよう据え付けます。
- ・埋戻し・舗装時に、防護ふたが移動しないよう注意して、周囲を均等に転圧してください。



埋戻し

マスが移動しないよう、また、立上がり管が傾かないよう注意して、マスの周辺を均等に一定深さごとに埋め戻してください。発生土を用いる場合は、石、がれきなどの固形物を必ず取り除いてください。



床面仕上げ

コンクリート仕上がり面に合わせる場合は、内径カッター (インカッター) を使用すると簡単に施工できます。

